

各地の活動紹介 熊本県

一般社団法人 熊本県言語聴覚士会

若い力が支えている 熊本県言語聴覚士会

～一般社団法人化4年目を迎えて～

会長 山本 恵仙 事務局長 池崎 寛人
理事・会員一同

法人化への道のり

熊本県言語聴覚士会は2000年に約40名で発足し、現在では350名ほどの会員数となっています。2011年に一般社団法人化し社会的にも認められる団体となりました。また、平成の大合併を機にブロックも細分化し会員に身近な県士会となっています。組織としては、事務局、財務部、学術研修部、広報部、事業部、渉外部、専門部会、ブロック会に分かれてそれぞれの活動を行っています。なお、各部局の主なメンバーは若い会員で構成されています。



(一社)熊本県言語聴覚士会総会

(一社)熊本県言語聴覚士会の取り組み

熊本県言語聴覚士会では、①地域への広報活動と②質の高い言語聴覚士の育成に力を入れています。

①地域への広報活動

地域への広報活動としては、言語聴覚の日の開催や熊本市民健康フェスティバルへの参加、FMラジオ番組への出演、失語症会話パートナー講座の開催を実施しています。さらに、2014年度からは失語症友の会大運動会Step up festival、ことばの遅れに関する出張相談会を開始しました。

●くまもと失語症会話パートナー講座(年1-2回)

熊本県立大学と共催し2008年より開催しています。講座参加者は失語症患者ご本人およびご家族、医療・介護従事者、学生などです。2014年3月より「出張講座」を開催し活動の幅を広げています。

●失語症友の会大運動会 Step up festival(年1回)

スポーツを通して障がいを持った方々の社会参加の機会を提供しています。

●ことばの遅れに関する出張相談会

熊本県天草地区での教育委員会や子どもさん、ご家族を対象とした出張相談会を実施しております。



言語聴覚の日



失語症友の会大運動会

②質の高い言語聴覚士の育成

質の高い言語聴覚士の育成として、学術研修会の開催や基礎講座・専門講座の開催、シルバーサポートネットやくまもとST・こどもサポートNETによる定期的な研究会を実施しています。そして、熊本県言語聴覚士会では、会員特典として、県士会手帳KSTNET Support Bookを無料で配布しています。KSTNET Support Bookは、カレンダーやメモ欄などの一般的なビジネス手帳の内容に加えて、小児言語聴覚療法開設の手引きや地域言語療法スターターブック、部局情報、言語聴覚士の臨床で役立つ資料が記載されています。

●シルバーサポートネット

介護保険領域で働くSTをサポートし、地域で暮らす方々への啓発活動や介護保険に関する知識をまとめた「地域言語聴覚療法スターターブック」などを作成しています。

●くまもとST・こどもサポートNET

2004年より小児に携わる医療機関を増やすことを目的に、「小児言語聴覚療法開設の手引き」を作成し、医療機関における小児言語聴覚療法の開設サポートと開設後のフォローを行っています。

●県士会手帳KSTNET Support Book



(一社)熊本県言語聴覚士会学術研修会



くまもとST・こどもサポートNET



KSTNET Support Book

今後の取り組み

今後も現在の活動を継続し、言語聴覚士の認知度の向上と教育システムの充実を目指していきたくと考えています。今後とも熊本県言語聴覚士会をよろしくお願いたします。